

製品安全データシート (MSDS)

1. 化学物質及び会社情報

製品名: サイアソープ® UV3853 光安定剤

製品概要: ヒンダードアミン
用途: プラスチック添加剤

日本サイテック インダストリーズ 株式会社
〒135-0063 東京都江東区有明 3-5-7 TOC有明イーストタワー9階
Tel: 03-5564-3065

緊急連絡電話 (24時間対応) - 流出、漏洩、火災、汚染、災害等の緊急事態の連絡先:

日本 - +65 3158 1074 (Carechem24 Singapore)

アジア・太平洋地域:

オーストラリア - +61-3-9663-2130 or 1800-033-111

中国 (PRC) - +86 10 5100 3039 (Carechem24 China)

ニューギニア - +61-3-9663-2130

ニュージーランド - +61-3-9663-2130 or 0800-734-607

その他の地域 - +65 3158 1074 (Carechem24 Singapore)

カナダ: +1-905-356-8310 (Cytec Welland, Canada plant)

ヨーロッパ/アフリカ/中東 (Carechem24 UK):

ヨーロッパ, 中東, アフリカ, イスラエル - +44 (0) 1235 239 670

中東, アフリカ (アラビア語圏) - +44 (0) 1235 239 671

ラテンアメリカ:

ブラジル - 0800 0111 767 (SOS Cotec)

チリ - +56-2-247-3600 (CITUC QUIMICO)

その他の地域 - +52-376-73 74122 (Cytec Atequiza, Mexico plant)

アメリカ合衆国: +1-703-527-3887 or 1-800-424-9300 (CHEMTREC #CCN6083)

®は、米国内に登録された登録商標を示す。米国外では、登録済み、あるいは、申請中であるか、使用許諾を得て使用されている可能性もある。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分 1

皮膚感作性 区分 1

水生環境急性有害性 区分 1

水生環境慢性有害性 区分 1

ラベル要素

**注意喚起語：**

危険

危険有害性情報

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き**安全対策**

環境への放出を避けること。汚染された作業服は作業所から持ち出さないこと。粉塵を吸い込まないこと。保護手袋および眼／顔面保護具を着用すること。

救急措置

漏出物を集めること。眼に入った場合：数分間、慎重に水で洗うこと。コンタクトレンズを着用している人は、取り外しが容易であれば取り外すこと。眼の洗浄を続けること。直ちにPOISON CENTER（毒物センター）または医師／内科医に電話すること。皮膚に付着した場合：多量の石鹸と水で洗うこと。皮膚刺激や発疹の場合：医師の指示や治療を受けること。取り扱い物質に応じた治療を必要とする場合：添付した応急措置指針を参照すること。汚染した衣服を再使用の前に洗浄すること。

廃棄

内容物／容器は国及び地方の条例に従って廃棄すること。

*で示されているGHS区分はJISでは採用されていないが、国連GHS勧告で採用されている区分である。また、現在のGHSでは記載すると定められていない追加情報を記載している場合がある。

3. 組成、成分情報**有害成分**

成分 / CAS 番号	%	化審法番号
脂肪酸（C12-21，C-18不飽和）2,2,6,6-テトラメチル-4-ヒペリジニルエステル	97 - 100	(5)-6776

167078-06-0

4. 応急措置**眼に入れた場合：**

直ちに多量の流水で最低15分間洗うこと。直ちに、医師の診察を受けること。

皮膚への接触：

直ちに多量の流水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服及び靴を即座に取り除くこと。医師の診察を受けること。汚染された衣服は洗濯せずに再使用してはならない。

飲み込んだ場合：

飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。医師の指示のもとでのみ嘔吐を促すこと。意識のない者には決して口から物を与えてはならない。

吸入した場合：

本物質は吸入しても有害ではないと考えられる。新鮮な空気の場所に移すこと。

5. 火災時の措置

消火剤：

水噴射または水噴霧、二酸化炭素あるいは粉末消火器を使用すること。

保護具：

消防士及びその他本製品に暴露する可能性のある者は、自給式呼吸器を着用のこと。完全防火保護衣服を着用のこと。第8節(暴露防止及び保護措置)を参照のこと。

6. 漏出時の措置

人体への予防措置

吸入暴露が起こる可能性がない場合、呼吸器の保護は必要でない。暴露レベルが不明の場合には、認定された陽圧自給式呼吸器を着用すること。暴露レベルがわかっている場合には、暴露レベルに応じた認定された呼吸器を使用すること。適切な保護具については第8節(暴露管理/人体保護)を参照のこと。

漏出物の処理方法：

これをきれいに掃き集めて廃棄物処理容器に入れる。
漏出のあった場所は水で洗い流すこと。

環境的予防処置：

この材料及び／又はその容器は有害廃棄物として処分しなければならない。環境への排出を避けること

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

注意事項： 眼に入れないこと。長時間や反復する皮膚接触を避けること。取り扱い後は、十分に洗浄すること。

取扱い時の特別な注意事項:特記事項なし。

保管：

注意事項は特になし。

8. 暴露防止及び保護措置

8. 暴露防止及び保護措置

管理項目 - 管理濃度及び暴露限界値

データなし

設備上の対応

できれば密閉系で操作すること。本物質を密閉系で使用できない場合には、暴露管理上、周囲を十分に囲い込み、局所排気を行うこと。

呼吸器官保護:

吸入による暴露が起こりうる操作には、管理者が操作を考慮して推奨する、認定された呼吸装置を用いること。吸入による暴露が起こりえない場所では、呼吸装置の使用は必要としない。全面型呼吸保護具により眼及び顔面を保護すること。

眼の保護:

眼及び皮膚との接触を防ぐこと。暴露の可能性のある場所の近くに洗眼器及び安全シャワーを備え付けることが望ましい。化学薬品用ゴーグルや顔面シールド等の眼/顔面用保護具を着用すること。

皮膚の保護:

保護装置を取り外す際の皮膚や衣服の汚染を防止すること。非透過性手袋及び適切な保護衣服を着用のこと。

付記:

本製品の使用時には、食品、飲料、タバコ等を所持したり、保管したり、飲食・喫煙しないこと。飲食または喫煙前に石鹼及び水で顔と手を十分に洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

色:	黄色
外観:	ろう様の固体
臭気:	無臭
沸点:	293℃
融点:	30℃
蒸気圧:	0.051Pa@ 25℃
比重:	0.952@ 21℃
蒸気密度:	知見なし
揮発分パーセント(重量基準):	知見なし
pH:	該当せず
空気中での飽和濃度(体積基準%):	知見なし
蒸発速度:	該当せず
水への溶解度:	不溶性
揮発性有機物((1999/13/EC):	<3%
引火点:	140℃ 密閉式
燃焼限界(体積%):	該当せず
発火点:	350℃
分解温度:	知見なし
分配係数(n-オクタノール/水):	8.92

10. 安定性及び反応性

10. 安定性及び反応性

安定性:	安定
回避すべき条件:	知られていない
重合:	しない
回避すべき条件:	知られていない
回避すべき物質:	禁忌物質は特になし。
有害な分解生成物	二酸化炭素 一酸化炭素 (CO) 窒素酸化物

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路: 眼, 皮膚.

健康に対する有害性

急性経口毒性: 該当せず.

急性経皮毒性: 該当せず.

急性吸入毒性: 該当せず.

皮膚腐食性/刺激性: 該当せず.

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 重篤な眼の損傷.

呼吸器感作性: 該当せず.

皮膚感作性: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ.

発がん性: 該当せず.

生殖細胞変異原性: 該当せず.

生殖毒性: 該当せず.

特定標的臓器毒性 (単回暴露): 該当せず.

特定標的臓器毒性 (反復暴露): 該当せず.

吸引性呼吸器有害性: 該当せず.

製品の毒性情報

急性毒性データ

経口	ラット	急性LD50	>10000mg/kg
経皮	ウサギ	急性LD50	>5000mg/kg
吸入	ラット	急性LC50 4 hr	データなし

皮膚及び眼への局所的影響

急性刺激性	経皮	ウサギ	非刺激性
急性刺激性	眼	ウサギ	重大な損傷を来す

アレルギー感作性

感作性	経皮	感作性
感作性	吸入	データなし

遺伝毒性

遺伝子の変異原性試験

サルモネラ菌を用いたエームズ試験 変異原性なし

有害成分毒性データ

4-ピペリドール2, 2, 6, 6-テトラメチル-とステアリン（脂肪酸混合物）との反応生成物の急性経口（ラット）および経皮（ラット）LD値は、それぞれ10g/kg以上および5g/kg以上である。7時間LC-50（ラット）値は5mg/m³以上であり、これは最高達成可能濃度である。本物質によりモルモットでは中程度の皮膚への刺激が生じたが、ラットへの刺激性はなかった。モルモットを用いた試験では中程度の皮膚の感作が起こった。目への刺激に関する研究結果では、微少な程度から重篤な程度まで刺激性が変化した。本物質はネズミチフス菌を用いたエームズ変異原性試験では変異原性はなかった。またマウスを用いた小核試験では不活性、生体内染色体異常試験では不活性であった。90日間亜慢性経口NOEL（ラット）は>16.6mg/kgである。催奇形性NOEL（ラット）は>300mg/kgである。

12. 環境影響情報

水生生物に対し非常に強い毒性を有し、水生環境に長期的な悪影響を及ぼす可能性がある。

藻類の試験結果

試験：成長阻害試験(OECD 201)

試験時間：0-72hr

種：緑藻(*Selenastrum capricornutum*)

>0.495mg/l EbC50

>0.495mg/l ErC50

水溶性が乏しいので、実際に得られる最高の濃度
限定された水への溶解度による最大達成可能試験濃度

魚類の試験結果

試験：急性毒性試験、淡水(OECD 203)

試験時間：96hr.

種：ニジマス(*Oncorhynchus mykiss*)

>0.80mg/l LC50

12. 環境影響情報

無脊椎動物の試験結果

試験：急性遊泳阻害試験 (OECD 202)

試験時間：48hr

種：ミジンコ (Daphnia magna)

~0.11mg/l EC50

分解性

試験方法：修正MITI法(OECD 301C)

試験時間：28日

100%

BOD

100%分解して出発物質に戻る。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

弊社は、もし許されるのであれば、本物質をリサイクル、回収、再使用することをお勧めします。処分が必要な時は、本物質が危険廃棄物に分類されている場合、認可された施設での熱処理または焼却処理を推奨します。地域および国の規制をすべて遵守すること。

14. 輸送上の注意

本節では、基本的出荷等級の情報を示します。個々の必要性については、適切な運送規則を参照下さい。

ADR/RID/ADN (危険物の国際道路輸送に関する欧州協定/鉄道による危険物輸送の国際合意)

国連危険物に該当するか。X

適切な輸送名:環境有害物質、固体、n. o. s.

危険等級:9

UN 番号UN3077

容器等級:III

必要な運送ラベル: Micellaneous (その他)

物質の専門名:ヒンダードアミンを含む。

トンネル制限コード:E

コメント:タンカーでの内陸水路輸送は行わない。本物質は国連危険物規制における環境有害物質、またはIMDGコードにおける海洋汚染物質である。

IMO (国際海事機関)

国連危険物に該当するか。X

適切な輸送名:環境有害物質、固体、n. o. s.

危険等級:9

UN 番号UN3077

容器等級:III

必要な運送ラベル: Micellaneous (その他)
Marine Pollutant (海洋汚染物質)

Marine Pollutant (海洋汚染物質)

物質の専門名:ヒンダードアミンを含む。

ICAO/IATA (国際民間航空機関 / 国際航空輸送協会)

国連危険物に該当するか。X

適切な輸送名:環境有害物質、固体、n. o. s.

危険等級:9

容器等級:III

UN 番号UN3077

必要な運送ラベル: Micellaneous (その他)

物質の専門名:ヒンダードアミン含有

15. 適用法令

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質等

消防法:危険物 第4類 第三石油類 危険等級III

毒物及び劇物取締法:該当せず

労働安全衛生法

危険物・引火性の物:該当せず

リスト収載情報

日本:本製品のすべての成分は日本の既存化学物質台帳(ENCS)に掲載されているか、又は、台帳への掲載が必要ないものである。

米国 (USA):本製品の全成分は、TSCA化学物質リストに含まれるか、または、TSCA化学物質リストに収載の必要がないものである。

カナダ:本製品の全成分は、国内物質リスト(DSL)に含まれるか、DSLに収載される必要のないものである。

オーストラリア:本製品の総ての成分はオーストラリアの化学物質リスト(AICS)に掲載されているか、又は、AICSに収載が必要ないものである。

中国:本製品のすべての成分は中国化学物質台帳に掲載されているか、又は中国化学物質台帳に掲載の必要がないものである。

韓国:本製品のすべての成分は韓国の既存化学物質台帳(ECL)に掲載されているか、又は、台帳への掲載が必要とされないものである。

フィリピン:本製品のすべての成分はフィリピンの化学物質台帳(PICCS)に掲載されているか、又は台帳に掲載する必要はないものである。

16. その他の情報

発行理由: 第15節改訂

その他:

2. 危険有害性の要約-注意事項

POISON CENTER (毒物センター) … 財団法人 日本中毒センター([http://www.j-poison-ic.or.jp./](http://www.j-poison-ic.or.jp/))

【連絡先】大阪中毒110番 072-727-2499

つくば中毒110番 029-852-9999

作成者:Randy Deskin, Ph.D., DABT +1-973-357-3100

ここに提供された情報は、保証を与えたり、特定の立場を代表するものではありません。弊社は、これについて何ら法的責任を負いませんし、また特許化された発明を、実施権の許諾を受けずに、実施する事を認めたり推奨するものでもありません。本資料は、あくまでも、使用にあたり、検討、確認用に提供されるものです。製品を使用される前に、必ずラベルの記載事項を、お読み下さい。
